

子どもミーティングの
「まちづくりの提言」に対する処理方針

平成27年度
鹿児島市 市民協働課

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成27年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<他世代との対話の場>			
1	今回のように大学生・素敵に働いている大人と出会う機会をもっと作ってほしい。素敵な経験をして、自分の引き出しを増やせるようにしたい。	市民局 教育委員会	<p>今回、子どもミーティングに参加していただき、また、このような素晴らしい提言書にまとめていただきましたことに、まずは、心からお礼を申し上げます。</p> <p>また、参加された皆さんから、たくさんの前向きなご提言やご意見をいただけることを、嬉しく思います。</p> <p>まず、「他世代の方と気軽に話せる場がほしい」との意見が大変多かったです。このような機会は、学校の授業や普段の生活の中だけでは、なかなか経験できないことかと思えます。</p> <p>これからの社会を担う、また、将来の鹿児島を担う皆さんにとって、このような機会を得て、自分の将来のことや社会の在り方、将来の鹿児島市がこのようなまちになったらいいなということを、三日間かけてじっくり考えていただいたことは、貴重な経験になったのではないかと思います。</p> <p>本日、皆さんから、このミーティングに参加したことが、とても有意義だったとの声を直接聞かせていただき、私もこのミーティングの意味を再認識いたしましたので、本市においては、今後とも、このような取組みを、より充実させていきたいと考えております。</p> <p>また、同じような取組みとして、教育委員会においても、今年度から、国際感覚を持った若者を育成するために、「かごしま創志塾」という取組みを始めておりますので、皆さんには、ぜひ、このような取組みを含めて、若い時に、色々なものに積極的にチャレンジしていただきたいと思えます。</p>
2	多くの中高生に、学校や世代、全てのものをつばらった繋がりをつくれる機会を求めます。		
3	いろんな世代の人と関われる場を増やし、価値観・柔軟な思考を広く持てるようにしてほしいです。		
4	今回のような、世代を超えて互いに意見を交換できる場所を増やしてほしいです。		
5	この中高生ミーティングのように、自分の意見を気軽に言い合うことのできる機会を求めます。		
6	鹿児島の、笑顔の人・明るい人・あたたかい人・おもしろい人・フレンドリーな人と触れ合う場を求めています。		
7	私のように『チャレンジしたいけど失敗を恐れている人』のために、「発信する場」と「新しいことを始めてもあたたかく受け止めてもらえる環境」を社会にたくさん提供してもらいたいです。		
<学校の授業で他世代との対話>			
8	学校の授業として、今回のように「鹿児島を良くしよう！」としている大人の話聴き、ひとりひとりと話す場をつくってほしい。	教育委員会	<p>普段、接することの少ない他世代の方の話聞き、対話することは、若い皆さんにとって興味深く、得るものも多かったと思えます。</p> <p>本市の学校では、総合的な学習の時間等に鹿児島や地域のために活躍している方や著名人を招へいた講演や授業を実施しており、今後とも継続していきたいと考えておりますので、積極的に参加していただければと思います。</p>
9	今回学んだ大事なことを、多くの人に知ってもらうことが大切だと思う。だから、社会と学校が協力して、素敵な大人と関わる環境を作ってもらいたい。		

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成27年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<進学を知る機会>			
10	県外の専門学校について、その学校の人を鹿児島に呼んで、直接説明を聴ける機会がほしいです。	教育委員会	各中学校では、毎年、学校説明会を実施し、生徒の希望に応じて、県外を含め専門学校に説明会への参加を依頼していますが、相手方の日程的な都合等もありますので、全ての希望を叶えるの難しいといった事情もあります。 しかしながら、学校説明会は、県外の専門学校を知る大切な機会であり、可能な限り希望に沿った説明会にしたいと考えていますので、希望する専門学校について、それぞれの学校に伝えていただければと思います。
<中高生によるまちづくり>			
11	鹿児島市に、JK課(女子高生課)をつくって、若い世代が大人と一緒に何かを作り上げていきたい!	市民局	素晴らしい発想のご提案を頂き、ありがとうございます。 ご提案頂いたような課の設置は、市の組織の中では難しいと考えていますが、行政や企業、そして女子高生に代表される若い力が協働してまちづくりを進めていけるような取り組みをしていきたいと考えています。
<自然と都市の共生>			
12	働く女性が癒されるような、自然あふれる場所と都会感のある場所、両方がある街にしてほしいです。	経済局	近年、都市部の住民を中心に「ゆとり」や「やすらぎ」、「いやし」を求め、自然の中に身を置き楽しむ「グリーン・ツーリズム」が注目されてきています。 本市でも、このようなニーズを踏まえ、都市と農村の交流を通して地域の活性化を図る一つの方策として、グリーン・ツーリズムの推進に取り組んでおり、森林散策や溪流遊びなど心身ともにリフレッシュできる自然体験メニューの拡充や、八重の棚田をはじめ良好な自然環境、農村景観の維持・保全を図るなど、農村地域の豊かな自然等を体験、体感できる取組の充実を進めています。 また、まちの中心部におきましては、冬季にイルミネーションを実施するなど、働く女性が癒されるようなまちづくりにも努めておりますが、ご提案の内容も踏まえて、今後の検討を進めていきたいと思っております。

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成27年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<若者と自然>			
13	鹿児島県の自然の魅力に、若者がもっと触れ合えるようにしてほしいです。	建設局	<p>自然に身近に触れ合うことのできる環境づくりは、人々が豊かで快適に生活する上でとても大切なことだと考えています。</p> <p>そこで、鹿児島県では、地域の身近なところや街なか公園を整備したり、市電軌道敷の芝生や街なかの花壇、街路樹等の維持管理を行うなど、潤いと安らぎのある美しい街づくりに取り組んでいます。</p> <p>また、市民の方々にも緑化活動に取り組んでいただけるよう、「錦江湾公園はなまつり」や「ふれあい園芸教室」などのイベントも開催していますので、皆さんもぜひ参加していただきたいと思います。</p>
<交流イベントの開催>			
14	家族や世代を超えた文化を取り入れたイベントを、多様な主体をスタッフにして、開催したいです。	経済局	<p>おはら祭は子どもから高齢者の方まで幅広い年齢層の方が参加され、その中には県外の方、外国の方もいらっしゃいます。そのため、参加される方々を集めて開く会議などで、みなさんから意見をいただき、よりよいおはら祭となるよう工夫しております。</p> <p>また、平成28年3月6日に開催予定の鹿児島県マラソンは「鹿児島県のすべてを感じるマラソン大会～明治維新の街のおもてなし～」をコンセプトに開催します。</p> <p>この大会は、市民やボランティア、企業がひとつになって、ランナーを温かくおもてなしすることも目指していますので、今後、ランナーやボランティアなどの形で、是非ご参加頂ければと思います。</p>
15	人と人が関わり、つながる場をつくり、鹿児島県を「一家族化」することを狙って、気軽に話せる要素を持ったイベントを開きたいです。		
16	行く前にうきうきして、楽しみになるようなイベントをしてほしいです。		
<仕事を知る機会>			
17	子どもが様々な仕事に出会うチャンスをつくってほしい。出会うだけでなく、体験してみたい。	教育委員会	<p>各学校では、仕事の内容や社会の仕組みを知り、働くことの意味ややりがいについて考える機会をつくるために、職場見学や職場体験学習などを行っておりますので、今後も更に充実させていきたいと思っています。</p>

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成27年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<仕事を知る機会>			
18	鹿児島県のPRや学校でのハローワークの機会を増やしてほしいと思います。	企画財政局	<p>ご提案頂きましたように「鹿児島県のPR」を行うことは、少子高齢化や都市間での競争が激しくなる中で、まちの活力を維持していくために、とても大切なことだと考えています。</p> <p>そのため、本市で有している歴史や自然をはじめとする多彩な地域資源について、テレビ・雑誌などでの広報宣伝、県外での物産展やイベント会場での観光PRを行っています。</p> <p>例えば、平成30年の明治維新150年に向け、鹿児島ゆかりの偉人に扮した「薩摩観光維新隊」やかごしま親善大使を各地のイベントへ派遣し、“維新ふるさと鹿児島市”をPRしています。</p> <p>このほか、観光ホームページの運営であったり、観光DVDや観光パンフレットなどの発行、また、鹿児島県に関心を持たれた方で、鹿児島県観光サポーターとして登録していただいた方々には、メールマガジンによる情報発信なども行っています。</p> <p>今後も、自然や歴史、文化など、本市が持つ様々な魅力に加えて、子育てや仕事などの各種支援策や、買物情報・医療体制など、生活者の視点に立った情報も発信するとともに、たくさんの方々に本市の魅力を広くPRしていきたいと考えています。</p> <p>次に、ご提案頂きました「ハローワークの機会」についてですが、若い皆さんが、これからの進路を考えるにあたり、様々な仕事を知る機会を得ることは非常に有益なことだと思います。</p> <p>そのため、本市においては、就職活動に役立ててもらえるように、就職を控えた高校3年生を対象に「高校生ステップアップセミナー」を開催し、ヤングハローワークの職員による就職活動に関する講話や面接の練習などを行っております。</p> <p>このセミナーにつきましては、毎年、市内の全高校に参加を呼び掛けておりますので、ぜひ積極的にご参加頂ければと思います。</p> <p>また、本市の取組みやハローワークをはじめ国・県の情報を掲載した「キャリア形成ガイドブック」を作成し、市の施設に設置するなど、若者に向けて情報提供を行っていますが、今後とも様々な機会を通じて、職に関する若者への支援に努めていきたいと考えています。</p>

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成27年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<市民の平等>			
19	「市民の平等」に関する小さな問題をもっと取り上げてほしいです。	市民局	<p>市民一人ひとりの基本的な人権が尊重されることは、生き生きとした個性輝く社会を実現するために、とても大切なことです。</p> <p>そのためにも、まずは人権問題について正しい理解と認識を深めることが必要だと思いますが、本市では、啓発資料「みんなの幸せを求めて」を制作、配布をするなどして、啓発活動を行っております。</p> <p>この資料の中では、実例として法務省で取扱われた人権侵犯事件の問題も掲載されており、人権意識を高めていくために、広くご活用いただくように周知を図っているところでありますので、ぜひご活用頂ければと思いますが、本市においても、引き続き、市民の皆さんの人権が尊重されるようなまちづくりを進めていきたいと考えております。</p>
<教育への提言>			
20	この先、生まれてくる子供たちに「受け止める優しさを学べる」幼稚園や保育園、小学校をつくってほしい。	健康福祉局 教育委員会	<p>本市では、「子育てをするなら鹿児島市」を掲げ、市民の皆さんが安心して子育てを行うことができる環境づくりに取り組んでいます。子どもたちの健やかな成長を望むときに、幼稚園や保育園での活動であったり、様々な機会の中で、人に対する優しさ、思いやりの気持ちを育んでいくことは、重要なことだと思います。</p> <p>保育所のガイドラインである「保育所保育指針」の「保育の目標」においては、「人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。」が掲げられており、ご提言の「受け止める優しさを学ぶ」ことにもつながっていくものと考えています。</p> <p>各園や学校におきましても、他の人々と親しみ、支え合って生活するために、思いやりや親切などの心を、道徳教育や人権教育を通して育成しておりますので、今後とも、更なる充実を図っていききたいと考えております。</p>